

連合会名

## シニアクラブ御前崎

見守り活動

地区連合会の活動

事業実施主体：『白羽地区連合会』

(御前崎市青少年健全育成事業)

事業の概要	
(1) 内容	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域と学校との連携・協働によって子供たちを育む環境整備に取り組む。</li><li>・一年を通して、地域の小中学生への通学時の交通安全指導、児童への声掛け、挨拶運動を通して地域のこどもたちとのコミュニケーションを深める。</li></ul>
(2) 活動日	・令和3年4月1日(木)から1年を通して実施
(3) 会場	・県道 御前崎から菊川線
(4) 参加者	①交流対象者 白羽小学校児童、御前崎中学校生徒 約1,000名 ②交流参加者数 187名 ③会員参加者数 延べ700名
(5) 講師又は指導者数	名
事業の成果と課題	<ul style="list-style-type: none"><li>・朝晩の通学時間帯と通勤時間帯が重なるため、危険度が増すことから、地域の各町内会役員、PTA、老人会が連携して、登下校時間帯に立哨して、見守ることで、過去17年間無事故を達成している。</li></ul>

令和 3 年度サポート隊活動報告書

連絡先	
サポート隊名	白羽地区
担当者名	老人クラブ代表 高塚 晴雄
電話番号	0548-63-3690 (白羽地区センター)

今年度の活動内容・来年度の計画内容等

※サポート隊の活動内容や子どもたちの様子を記入してください。

6町内会ベースの活動を基本とし、合計 187 名の登録者体制で、無理なく可能な範囲で協力をお願いし、特に毎月 10 日のスクラムの日、及び 4 月新学期と、1・2・3 学期末の 4 回をベースにした白小前「集中立哨期間」を設け、重点的に声かけ、あいさつを交わしました。

この活動の他にも、当番を決め下校する児童を見守っている老人クラブもあり、既に次年度の年間予定表を各町内会に配布、同様の活動をお願いしました。

子ども達からは、「一年間の感謝のメッセージ/手作り寄せ書き」が届き、サポート隊及び町内会の皆様の目に触れるよう、各町内会コミュニティセンターへ掲示致しました。手書きメッセージは地域と学校のスクラム交流の心に残る証となりました。

更に交差点で、毎朝 旗振りボランティアを数年間続けてくれた、薄原区老人クラブの「栗林さん（現在病氣療養中）への御礼のメッセージ」は、コロナ禍でも子ども達からの、何よりのお見舞いになったと感じます。

また、7月30日開催の青少年健全育成白羽地区懇談会では、御前崎交番長を交え、通学路の安全と町内会サポート隊活動をベースに話し合い、①白小児童の下校時刻予定表共有、②過去の地域内危険箇所マップ、③通学路の安全対策について協議、安全標識や交差点信号機については改善案件として、危機管理課に提案・検討へつなげました。

「地域の子供は、地域の大人達が育てる」をコンセプトに、今後も活動に協力・参加していきたいと思っています。

